

【生物基礎】

<学習内容について>

生物基礎では、生物や生物現象の基礎的な内容を学んでいきます。身の回りの自然や日常生活の中で目にする生き物にはいろいろなものがあります。スクーリングでは、実験・観察を取り入れながら、生物の違いや共通点について考えていきます。

<教材について>

教科書：『高校生物基礎』（実教出版）

<レポートについて>

レポートの回数は半期で6回、年間で12回です。教科書の対応ページと内容は以下の通りです。

[前期]

- 第1回：生物の特徴（生物の多様性と共通性） p 8～p 23
- 第2回：生物の特徴（生物とエネルギー①） p 24～p 31
- 第3回：生物の特徴（生物とエネルギー②） p 32～p 39、巻末資料 p 176～p 179
- 第4回：遺伝子とその働き（遺伝情報とDNA） p 42～p 47
- 第5回：遺伝子とその働き（DNA研究の歴史 遺伝情報の分配） p 48～p 59
- 第6回：遺伝子とその働き（遺伝情報とタンパク質の合成） p 60～p 77

[後期]

- 第1回：ヒトのからだの調節（体内環境） p 76～p 89
- 第2回：ヒトのからだの調節（体内環境の維持のしくみ） p 90～p 105
- 第3回：ヒトのからだの調節（免疫） p 106～p 123
- 第4回：生物の多様性と生態系（植生と遷移） p 126～p 139
- 第5回：生物の多様性と生態系（植生とバイオーム 生態系と生物の多様性）
p 140～p 157
- 第6回：生物の多様性と生態系（生態系のバランスと保全） p 158～p 171

<スクーリングについて>

半期で8時間のスクーリングへの出席が必要です。

基本的には、提出期限日が近いレポートの内容を扱います。

教科書をよく見ながらよく考えて、レポートを完成させていきましょう。分からないところが出てきたら直接質問してください。

スクーリングの時や電話での質問も可能です。レポートを提出する時には空欄がないか確認しておきましょう。

<評価について>

評価は、試験成績と平常点（レポートの成績）を総合して 100 点法で行い、30 点以上を合格とする。

[知識・技能]

日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技術を身に付けている。

[思考・判断・表現]

物質とその変化から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど科学的に探究している。

[主体的に学習に取り組む態度]

物質とその変化に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。